

博士論文審査の結果の要旨および担当者

学位申請者 高本 光次郎

論文担当者 主査 田端 千春



論文担当者 副査 山本 悟史



論文担当者 副査 藤野 秀樹



博士論文名 Low Quality of Warfarin Therapy is Associated With Female Gender but Not With Polypharmacy in Patients With Atrial Fibrillation.

心房細動患者におけるワルファリン治療の質はポリファーマシーの影響を受けないが女性で低下する。

【論文審査の結果の要旨】

学位申請者は、心房細動患者のワルファリン治療の質に及ぼすポリファーマシーの影響を検討している。ワルファリンは食品や薬剤の影響を受けやすいが、複数の薬剤を併用するポリファーマシーが、ワルファリンコントロールを悪化させるかどうかについては、今まで十分に検討されていない。そのために、心房細動を有する患者において、ポリファーマシーとワルファリンの関連を探索する本研究目的は有意義であり、薬学研究として高い独自性・有用性があると考えられる。

研究方法として、2013年4月から2014年3月の期間に、兵庫医科大学病院・循環器内科外来を受診した157名をレトロスペクティブに解析している。対象患者群は、心不全・虚血性心疾患・末梢動脈疾患や脳血管疾患などの心血管疾患患者群や高血圧症や糖尿病などの心血管疾患の危険因子の治療患者群である。またこれらの患者群は、PT-INRが1年間に3回以上検査された患者群であり、研究方法やデータ収集として適切であると考えられる。

研究結果としては、ポリファーマシー（処方薬剤数5剤以上）はBMI高値やeGFR低値と有意に関連していることは判明したが、PT-INRの治療範囲内の時間(TTR)、PT-INRの治療範囲内の割合(PINRR)やPT-INRの変動係数(CV)との関連はなかった。また女性と低いPINRRは、独立して関連があることが証明された。上記のデータ分析方法は適切であり、臨床にフィードバックできる非常に重要な結果を示されている。

また文献を用いた適切な考察が行われ、倫理的事項も遵守されている。観察期間の延長や、対象疾患の範囲の拡大等、今後更なる飛躍が期待される薬学研究として、非常に意義ある研究である。

以上のことから、兵庫医療大学大学院薬学研究科の論文審査基準を満たしていると判定し、本論文は博士論文として適切であると判定する。

最終試験の結果の要旨および担当者

学位申請者 高本 光次郎

論文担当者 主査 田端 千春



論文担当者 副査 山本 悟史



論文担当者 副査 藤野 秀樹



博士論文名 Low Quality of Warfarin Therapy is Associated With Female Gender but Not With Polypharmacy in Patients With Atrial Fibrillation.

心房細動患者におけるワルファリン治療の質はポリファーマシーの影響を受けないが女性で低下する。

【最終試験の結果の要旨】

最終試験では、博士論文の内容に基づく質疑応答を行い、本研究科のディプロマポリシーを満たしているかどうかを審査した。

本学位申請者は、兵庫医科大学ささやま医療センターに薬剤師として勤務している。今回、博士論文として発表した本研究内容だけではなく、臨床の現場で必要な臨床全般に対する幅広い学識と豊富な経験に基づいて、適切に回答した。このことから、薬学研究者として活動するために必要な専門的知識を十分に有することを確認した。

複数の薬剤を併用するポリファーマシーとワルファリンコントロールの関連性については、今まで十分に検討されていないため、心房細動患者のワルファリン治療の質に及ぼすポリファーマシーの影響の検討を目的とした本研究を施行した本学位申請者は、医療の抱える問題点を自ら見出し、それに基づき検証する最先端の知識と能力を有する研究者であると確認した。

本学位申請者は、本研究においては2013年4月から2014年3月の期間に、兵庫医科大学病院・循環器内科外来を受診した157名をレトロスペクティブに調査しているが、今後の研究の展開としては、循環器疾患患者群や観察期間の拡大のみならず、対象患者群の追加や多施設共同研究への発展等、他者の研究を正確に理解し、批判的に吟味した上で、今後さらなる研究への強い意欲があることを確認した。

また、考察は適切な引用文献を用いて妥当に行われ、論文は首尾一貫性を呈しており、倫理的事項も遵守されている。

以上のことから、本学位申請者である高本 光次郎氏は、本研究科のディプロマポリシーを十分満たしており、最終試験合格と判定する。